

「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」 家庭教育支援活動の取組事例

学校・家庭・地域で考える健康教育(岩手県 大槌町)

取組の概要や経緯

全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を基に、児童生徒の健康に関する課題等について共通理解するとともに、その予防策や対応等について協議し、取組の一層の充実を図る。

内容

全国体力・運動能力、運動習慣等の調査について大槌町健康教育リーフレットを作成し、保護者に配布した。

児童生徒の健康に関する課題とそれを解決するための取組について、5月に学校、保護者、スポーツ団体関係者等を対象に健康教育委研修会を実施した。大槌町の児童生徒について、状況と課題を把握し、課題解決に向けて具体的な取組についてワークショップを行った。

ポイント

- ① 「大槌町健康教育リーフレット」を配布し、情報を共有
- ② 健康教育研修会の実施
- ③ 現状と課題を把握し、課題解決に向けてのワークショップの実施し、各学園で取り組みを行った。

成果

健康教育リーフレットで、学校・家庭・地域住民が児童生徒の現状と課題を把握できた。また、学校では、課題解決に向けて、学園独自で体力測定を行い、それをもとに運動メニューを工夫するなど、小中連携して体力づくり運動に取り組むことができた。

今後の方向性

・全国体力・運動能力、運動習慣等の調査を活用して、本町の現状と課題を把握し、課題解決に向けての取組を考えていくことを継続する。また、体力づくりだけでなく、児童生徒の健康について食育や生活リズム等より良い生活づくりの意識をもたせるような取り組みも考えていく。

